

教科名【生活】

児童の実態

- ・異学年交流の際には、調べたことを前向きに相手に伝えようとする意欲がある。また、年下の子にやさしくしようという意欲が高い。しかし、伝えたいことをスムーズに伝えることが難しい児童もいる。
- ・公園や校庭にある自然に触れたり、活動したりすることを通して、自然に興味を示したり大切にしたりする気持ちが育っている。

授業革新推進に向けて

- ・交流活動を大切にし、自分の思いや考えを分かりやすく伝えたり、相手の思いや考えをしっかりと聞く力を身に付けさせる必要がある。
- ・児童の活動を安全かつ効果的に支援するために、学年間や学力向上委員等との連携を密にし、単元におけるねらいを常に明確にしておく必要がある。
- ・自然に触れる活動が多いので、校内だけでなく、周辺の公園の植生などについての調査や、記録の保存などが重要である。また、その年度毎の天候の変化なども考慮する必要がある。
- ・他教科との関連性も考えて計画を立てることがより効果的である。
- ・家庭の協力を必要とする単元もあり、各家庭の状況への配慮や家庭との連携が必要である。